

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「魔法少女アフター」 テーマ：「かつて世界を救った魔法少女なのに、今では自分の都合で魔法を使い放題な美少女」

キャラクター

70

ストーリー

55

テーマ(設定)

65

文章力

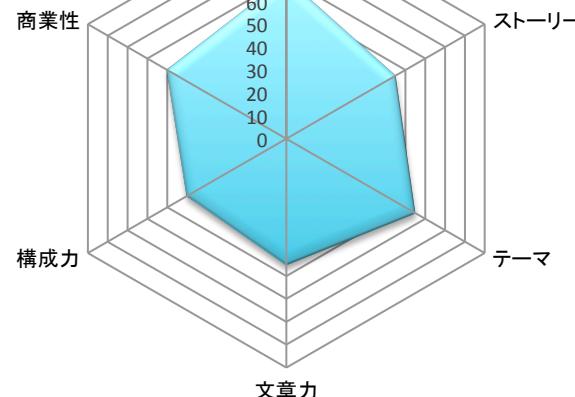
55

構成力

50

商業性

60



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がりに欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要な設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ！」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・会話描写のセンスがあるだけに会話のテンポを乱す地の文がもったいない。例えは「窓ガラス直そっか？」→「いいよもう。どうせお前帰るときも壊すんだろ」→憤りて怖い、「さつさと本題を片付けよう～」は、「ば「窓ガラス直そっか？」→「いいよもう。どうせお前帰るときも壊すんだろ」「うん」→「じゃあさっさと本題を片付けよう～」とした方がテンポが良い。主人公がもう本当に憤りて&あきらめがついてる感覚を伝えられる。「引退した。その方が世の中のためだ」→正直に答えてやると、彼女は両手を床に叩き付け、「なんで！？ 力があつたら～」も、中の地の文はいらないか、もしくは「なんで！？」のセリフのあとに置いた方がリズム感が生まれる。残りは割愛。

・とにかく終始春香がぶつんどいで良かった。魔法少女ブラックまどかちゃん的な印象。「真名(マナ)」→「婚姻届」や「周りの女どもを全員呪い殺す」などのちょっと笑えないヤンデレネタで読み手の笑いをとづけたり、それでいて実際人を呪い殺すような残酷なシーンは入れずに終始ギャグ系(ゴブリン殺害については笑いをとりにきていることが明らかであったためOK?)で一貫させて「とにかく笑いを」という姿勢は本当に良くてかつ読んでて楽しめた。

・ほとんど指摘する問題点がないが強いてあげるなら、3章それぞれがかなり独立してしまっているので、短編ならば全部まとめて起承転結のついた長めの1章にした方が良かったのではないかということ。(ぶつんだ春香があとになるにつれ弱くなってしまっているため、最初のキャラでの一貫性が欲しかった)

合計加点ポイント 0

総得点： 355 / 600

B方式総合得点： 21004 点